

はしやす 箸休め か ゆず香

ユズのおつまみ/箸休め ゆず香で町興し



取組概要

- ユズ収穫による地域興しと里山の整備を期待し、地元で食べ継がれてきたマーマレード風なユズのおつまみを「箸休め ゆず香」と名付けH24年に商品化。
- 日本で唯一の加工品のため、食べ方やいわれを示した和英併記の葉も付け、海外からの訪問者にも対応。
- 平尾台自然の郷、合馬農産物直売所などのほか、JR新幹線小倉駅コンコースや北九州空港等でも販売。H30年は約1300個を販売見込み。

活動成果

- 高級なお土産や贈答品として、地元有名店や近郊の駅・空港での販売が定着し、地域の観光振興に貢献。
- 特に、昨年暮れから北九州空港の喫茶店に業務用として納入が実現。モーニングセットのヨーグルトへのトッピングとして使用され、好評を得ており、納入量の拡大が求められている。
- 農家からは傷のあるユズも高価で買い取ってもらえると喜ばれている。

箸休め ゆず香

福岡県北九州市小倉南区志井鷹羽台25-6

Tel : 093-961-5273 Fax : 同左

J A 福岡市大豆加工指導グループ「まめひめ」

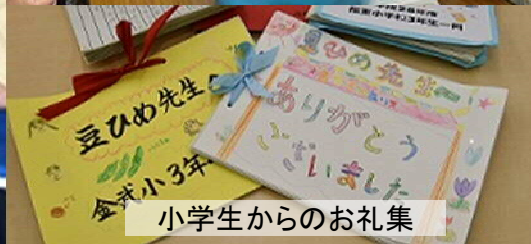
味噌づくりで未来を育む食と農の伝道師



小学校味噌づくり教室



公民館味噌づくり教室



小学生からのお礼集

取組概要

- H11年、小学校での味噌づくり指導がきっかけ。H15年に食育活動に本格的に取り組むため会員47名で当会を発足。
- 毎年9月から翌2月までの間、福岡市内の小学校や公民館などに出向き、無添加の味噌作り体験教室を開催。
- 味噌づくり教室は好評で、開催回数は年々増加。H30年度は、小学校・幼稚園22校、公民館等30ヶ所、「食と農の体験教室」2ヶ所を予定。会員数も年々増加し、H30年は110名が活動。

活動成果

- 平成11年の活動開始以来、19年もの長きに渡って活動を継続。累計の味噌づくり教室参加人数は約28,000名にも上る。
- 次の世代の子どもたちや地域の方々に改めて和食や農業の重要性を体感してもらっている。
- 会員の多くは農家の女性。味噌づくりでの「食」と「農」の繋がりを実感をもって伝えており、「食」と「農」の伝道師として活躍。

J A 福岡市総合企画課
福岡市中央区天神4-9-1

Tel : 092-711-2084 Fax : 092-732-8790

久留米南部商工会

久留米産はとむぎで地域おこし



取組概要

- 久留米産はとむぎを使った商品開発を行うため、H26年より当商工会が中心になりJA、大学、国、県、市の支援を受け、商品開発及び販路開拓を実施。
- 地元メーカー等と連携し、ビール、化粧品、茶、アイスクリーム、和菓子、パン類など多くの商品を開発。
- はとむぎビールの「九州ビアフェスティバル」への出品。全国の食品見本市「グルメ&ダイニングスタイルショー」、地方銀行フードセレクション等に出展。

活動成果

- はとむぎビールはアンテナショップ「久留米館」(東京新橋)、福岡市の大型商業施設、福岡空港等での販売に結びつき、久留米はとむぎの認知度が向上。
- お茶、餃子、アイスクリーム、菓子、化粧品なども販売に漕ぎつけ、地域全体に経済効果が出てきている。
- 今年度、訪日外国人に食事をしていただき、はとむぎ商品を土産として買って頂くよう多言語化ホームページ、飲食店紹介パンフレットを作成中。

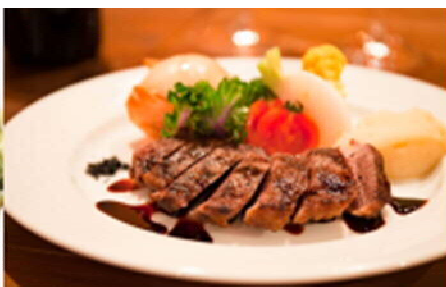
久留米南部商工会

福岡県久留米市三潅町玉満2779-1

Tel : 0942-64-3649 Fax : 0942-64-4850

やめ 八女商工会議所

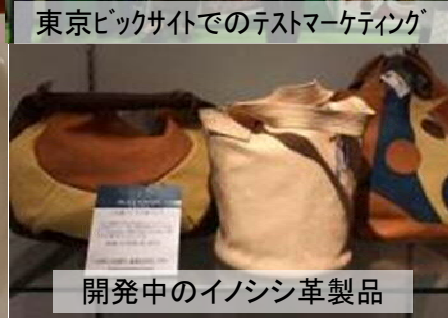
八女から伝える 山の食文化の復興！



東京ビックサイトでのテストマーケティング



八女ジビエマンスで提供する料理の一例



開発中のイノシシ革製品

取組概要

- 鳥獣被害に歯止めをかけ、「猪」を新たな地域資源として活用するため、H24年から「ジビエプロジェクト」を開始。
- イノシシ肉の安定供給のため、箱罠に猪が入った時点で設置農家から猟師に連絡する体制を整備。
- 地元飲食店15店舗（H29年）で八女産イノシシ肉を1ヶ月間味わう「八女ジビエマンス」の開催、カレー、ハム、ソーセージ等の商品開発、イノシシの革を活用した革製品の試作等を推進。

活動成果

- 地元では、猪肉を近所から頂く風習があり、猪肉への負の先入観（固い・臭い）が強かったが、6年間の取組により、メディア取材等も増え、地元のジビエに対する評価が変化した。
- 常時猪肉料理を提供する飲食店が現れるとともに、民間企業が処理場建設を検討し始め、今後の進展が期待できる。
- 伝統工芸の技術を活かし、副産物の革を活用した革製品の試作も行っており、新たな資源での商品化も期待できる。

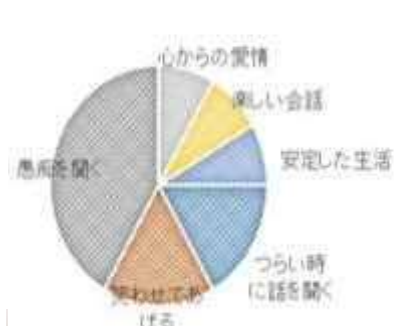
八女商工会議所

福岡県八女市本村425-22-2

Tel : 0943-22-5161 Fax : 0943-22-5164

筑後市役所 企画調整課

独身農家！自分たちの婚活は自分たちで！



- パートナー与えてあげられるもの
- ・ 話をしてあげることが好きだから。
- ・ 聞くことは慣れている。
- ・ 話を聞くのは嫌いじゃない。
- ・ 会話を楽しくできるから。
- ・ パートナーになってもらうだけでもうれしいです。

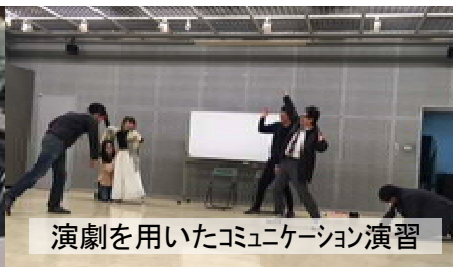
アンケート結果の一部



婚活ファッションお買い物ツアー



会議の風景



演劇を用いたコミュニケーション演習



参加女性と鍋料理作り

取組概要

- 筑後市ではH29年度より同市地域おこし協力隊員の監修のもと、農協青年部が自ら婚活イベントの「企画・運営・司会」すべてをこなす取組みを実施。
- 婚活をする際に「自分に何が足りないか」を気づいてもらうためのアンケートを実施し、その結果を共有。
- コミュニケーション力向上の研修、「女性に心から楽しんでもらえる」企画作り、自前で依頼したスタイリストによる婚活ファッションの準備に取組んだ。

活動成果

- 独身農家が主体性を発揮し、自信を持ってイベントに取り組んだことで、女性参加者に喜ばれ、男性9名対女性10名のイベントで5組のマッチングに成功。高いマッチング率に繋がった。
- これまでの活動経費を半分以下にすることができた。4ヶ月間の取り組みを通して、どの地域にも汎用が効くプログラムや考え方が構築できた。
- 今後、この活動を継続することで農家の生活の質の向上につながる。

筑後市役所 企画調整課

福岡県筑後市大字山ノ井898

Tel : 0942-53-4245 Fax : 0942-52-5928

協同組合福岡・大川家具工業会

日本一の家具産地大川が始める森づくり



取組概要

- 早生広葉樹のセンダンは樹齢15～20年で末口径30cm～50cmの直材になり、家具材として利活用することで循環型ビジネスのチャンスと十分なりえる。
- このため、H29年にセンダンを使った家具の商品開発を行い、「住まいの博覧会」(福岡市)、「ふるさと建材見本市」(東京都)へ出品。
- 併せて、センダンの植林活動を八女市上陽町(500本)、宮崎県諸塚村(400本)、地元大川市(30本)で実施。

活動成果

- 植林活動の参加者は住宅供給者や消費者とその子供達であり、H29年度130人、H30年度は200人を予定。参加した子供達が成人となる15～20年後に家具に加工し、両親、幼稚園や小学校へ贈る取組みであり、木や緑の大切さを改めて実感して頂いた。
- この取組みを通じて、森林事業者、製材所や木工事業者、建設事業者、家具販売店、消費者までを一連に繋げることができ、循環型ビジネス構築の第一歩を踏み出すことができた。

協同組合福岡・大川家具工業会
福岡県大川市大字酒見221-3

Tel : 0944-87-2038 Fax : 0944-88-2004

ほうちく 豊築漁業協同組合

「本物の獲れたて」豊前の魚で地域おこし



漁師食堂「うのしま豊築丸」



入荷状況をSNSで情報発信

定食のメニューは季節替わり

取組概要

- 豊前海では、同一魚種が大量に水揚げされ、供給過多で値崩れを起こしていた。
- そこで、H21年に組合直営の漁師食堂を開業し、漁業者から直接、近隣市場よりも高値で買い上げ、食材として利用。
- H28年、水産販売・加工施設が設置されると、直売所・加工所を開設。漁師食堂も移設。水揚げ直後の魚介類の漁師による対面販売や廃棄されていた雑魚をすり身等に加工し販売。ハモやかきの加工品開発も実施。

活動成果

- 魚価の下支えや市場までの輸送コストの縮減、水産業の6次産業化の実現で漁業者の所得が向上。消費者と直に触れることで、漁業者の勤労意欲も向上。
- 加工所では「浜のかあちゃん組」を雇用することで、女性の活躍の促進と同時に魚さばき技術の継承にも貢献。
- 東九州自動車道の全線開通に合わせPR活動を実施したことで、福岡都市圏や大分・宮崎方面からの来客も増えており、豊前市の観光振興にも寄与。

豊築漁業協同組合

福岡県豊前市大字宇島76番地31

Tel : 0979-83-2228 Fax : 0979-83-2391

えだがわうち

枝川内あじさい祭り実行委員会

ちいさな村の大きな挑戦！



1万5千本のあじさいが咲き乱れる区内風景

あじさい米の販売

写真コンテストの表彰 商品は米

取組概要

- H13年に基盤整備後の法面活用としてアジサイを植栽。H22年から「枝川内あじさい祭り」を毎年開催。
- アジサイの増植は、植栽会、剪定会を開催し、都市住民の参加者を募り、実施。祭りでは、そば打ちの実演・販売、地域の米「あじさい米」、スイートコーンの販売も実施。
- H25年に集会所を食事処として開店。あじさいやそばの花の鑑賞会等で地元食材を活かした食事を提供。

活動成果

- 祭りの来訪者(H29年は7,000人集客)への当地域の情報発信や写真コンテストの開催等で、観光客が急増。地域観光産業へ大きな経済効果となっている。
- 祭りでのそば打ちの実演やあじさい米、スイートコーンの販売で、新たな消費者の発掘につながり、販売が増加。
- 祭りの開催を通じて、集落が一体となることで、地域コミュニティが強化され、農村の共存共益社会が再構築されている。

枝川内あじさい祭り実行委員会
福岡県豊前市大字大河内301-3

Tel : 0979-88-2002 Fax : 同左

おごおり 小郡 星の会

農業とものづくり文化のこだわり発信

会場	展示・販売の内容	
久光農園	・6次化の認定を受けた和の寄せ植えや苔玉販売 ・農作物販売とガーデニング、鉢植え植物の再生支援 ・陶芸や苔玉のワークショップ ・家族の川柳や陶芸作家の作品を展示。全国友人のりんごやみかん等賛助品販売	「久光農園」の商品展示
翔工房	・自ら栽培した綿花や羊毛を紡ぎ、はたを織り、自然素材の染色を施し様々な作品に作り上げる	「翔工房」の機織り体験
布美	・振袖をウエディングドレスや洋服に仕立て直して販売。家族の書や彫刻等も展示	
吉松庵	・古民家ギャラリーで特別栽培米販売と藤工芸、布創作、トールペイント、ビーズアクセサリー作家などの展示販売	布美 展示販売

取組概要

- H16年に農業や芸術、文化活動を自らの力で発信し街の活性化につなげていこうと当会（現会員数13名）を結成。
- 以来、毎年10月末の金土日の3日間、小郡市内（4～5ヶ所）の会員の自宅やギャラリーを解放して展示や販売、ワークショップを行う「星のであい展」を開催。毎年1千人ほどが来場。
- パンフレット作りから広報活動、会場企画まで一年をかけ会議を重ね、当日はボランティアスタッフの参加も得て開催。

活動成果

- 年に一度のイベントで、高齢者や若者も無理なく出展し、参加が可能となっており、家族や地域の会話も増え、生きがいの発見にもつながっている。
- 会場が分散していることで、地域を広く体験するきっかけとなり、地域や異文化の交流が生まれ、新たな顧客の獲得に結びついている。
- 長年にわたり開催し続けることにより、近隣地域はもとより、遠方の方々と暖かい絆で結ばれている。

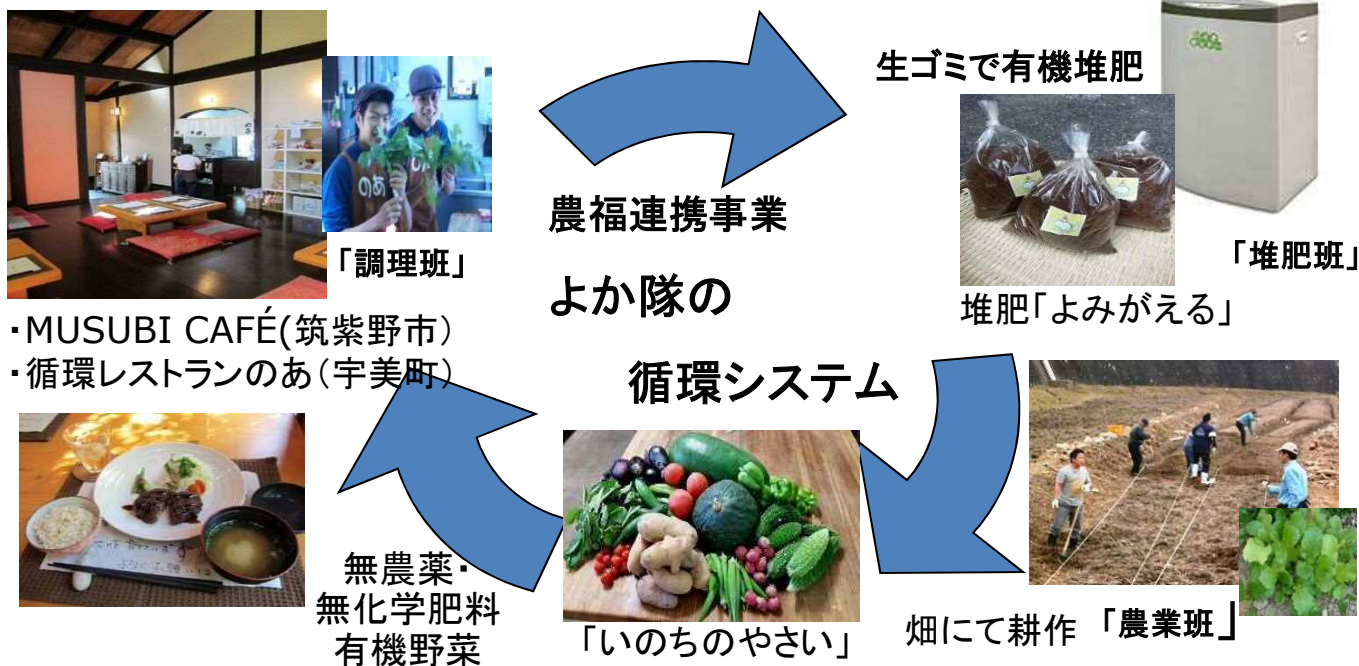
久光農園

福岡県小郡市小郡1883-9

Tel : 0942-72-3756 Fax : 0942-72-9132

特定非営利活動法人よか隊

農業・環境・福祉を繋いだ生命循環システム



取組概要

- H23年より、障害者就労支援A型事業に着手。年々増加する休耕地に着目して障害者とともに環境保全型農業を推進し、生産した野菜を食として提供の他、オーガニック野菜として他店舗へ卸している。
- 「農業班」が休耕地2ヶ所約9,400㎡を活用し、無農薬・無化学肥料で野菜を栽培。堆肥は、「堆肥班」が生ごみを原料に使った自家堆肥を使用。
- 当法人が運営する2店舗の飲食店にて農業班が作った野菜を用いて「調理班」が料理を提供。

活動成果

- 障害者26名は堆肥班3名、農業班11名、調理班12名に分かれ、作業を分担し、それぞれが、循環型社会を目指して活動している。
- 農業を希望する障害者は毎年増加。農業を通じて自然に調和した生活することで、精神障害の方には減薬の効果があるなど、身体への効果が現れている。
- 飲食店での障害者の丁寧な対応にお客様が癒されて、心がほろっとされてリピーターになられる方が多い。

特定非営利活動法人 よか隊

福岡県筑紫野市紫6丁目11番5号

Tel : 092-925-3336 Fax : 092-933-1791

株式会社 ちくしの農園

アジアの人が集うストロベリーフィールズ



香港からの家族連れ



農園全景



H29年オープンのカキ店

取組概要

- イチゴの観光農園を運営。海外旅行者向けイチゴのお土産持ち帰り促進のための事業を活用したモデル販売、海外の団体の視察・研修受入れ、日本の魅力ある観光スポットを紹介する海外のTV番組出演、英語表記案内看板やパンフレット制作等の取組で海外からのお客様が大幅に増加。
- 6次産業総合化事業計画の認定を受け、農園で生産しているイチゴを主に用いたケーキ店をH29年に開店。焼き菓子やイチゴジャムなど土産品も販売。

活動成果

- 海外の人の姿を見ることがなかった地域に多くの外国人観光客(H29年度実績約3,500人)を呼ぶことが出来るようになり地域の経済活性化に大いに寄与。
- 人の雇用が図れるとともに地域の様々な行事(子供会活動・中学生の職場体験など)に貢献。
- 農業を目指す若者の研修の場としても貢献しており、2名の若者が当園で研修後独立し、イチゴの生産に励んでいる。

株式会社ちくしの農園

福岡県筑紫野市筑紫1278

Tel : 092-400-3239 Fax : 092-403-3655

きただに 「北谷」米つくり隊

宝満山のふもとで農業体験しませんか！



稲刈り体験の様子



田植え体験の様子



芋ほり体験の様子

取組概要

- H22年、九州国立博物館の「稲づくりから国づくり」をテーマとした展示がきっかけで当組織を設立。
- 地元農家等で組織する隊員14名、毎年募集される都市住民の会員「まち応援団」(H29年は50人)で構成。北谷地域の休耕田で稲やさつまいもの栽培体験や除草作業、案山子づくり、収穫後は餅つき体験などの活動を行う。
- 隊の仲間等により酒米「夢つくし」を栽培、純米酒「宝満の夢」を作り、販売。

活動成果

- 各種体験の延べ参加者数は、SNSでのPR等により、年々増加。H29年度は、会員家族の体験に加えて、市内の幼稚園児家族の芋ほり体験を受け入れたことで350人が参加。
- 定期的に都市住民が訪れることにより、地域の活性化につながっている。
- 休耕田を活用することで棚田の保全が図られている。

太宰府市役所 産業振興課

福岡県太宰府市観世音寺1-1-1 Tel : 092-921-2121 Fax : 092-921-1601

福岡県立福岡農業高等学校食品科学科梅研究班

地域の縁を繋ぐ「太宰府梅サイダー」



「太宰府梅サイダー」



福岡農業高校食品科学科梅研究班の皆さん



梅園での収穫作業



観光列車旅人での販売

取組概要

- 地元特産物「太宰府の梅」を使うことで、地域のブランド化を強化するため、農業高校と市、西日本鉄道株式会社とが連携して「太宰府梅サイダー」を開発。
- 農業高校の生徒たちが梅の収穫から梅シロップの加工・製造をし、サイダーの製造及び販売を西日本鉄道株式会社が担当。特産品にするため、太宰府天満宮の多くの参道店舗で販売。
- 市の梅園維持・環境整備に貢献しようと、売上の一部を市へ寄付。

活動成果

- 栓を開けるときれいな泡玉が発生し、梅のほのかな香りときれいな琥珀色が特徴の上品なサイダー。県内外や海外から太宰府にお越しになるたくさんの観光客から、旅の思い出に残る土産物として喜ばれている。
- 太宰府の新たな名産品として市の観光振興や活性化に貢献。
- このブランドを活用し、JAと連携した梅部会復活、新規就農者や所得向上に向けた取り組みへと発展しつつある。

福岡県立福岡農業高等学校食品科学科梅研究班

福岡県太宰府市大佐野250 Tel : 092-924-5031 Fax : 092-928-0740

かしがひら 檜ヶ平集落協定

集落の絆で地域活性へ導け！



集落全体で管理するシャクナゲ園(1000本植栽)



女性部の皆さん



手作りのピザ窯

取組概要

- 当市と八女市を結ぶトンネル開通による入込者増加を見据え、集落の魅力の発信、集落の憩いの場づくりを推進。
- 集落全体でシャクナゲを植栽。H15年頃より集落の祭り「シャクナゲ祭り」を開催してきたが、H25年より集落外の都市住民も参加できるよう参加範囲を拡大。
- 集落の女性部は祭りや道の駅で地元農産物や蒟蒻芋の加工販売などを実施。さらに手作りのピザ窯でピザ作り体験イベントも実施。

活動成果

- 祭りやピザ作り体験など、集落が主体となって取り組むことで構成員同士の絆も強くなり、新商品開発などのアイデアも出やすくなった。
- 祭りの来場者数は毎年200人以上。都市住民との交流が増えたことで、観光資源や景観保全に対する意識が向上。
- 農産物やお茶などの物販等だけでなく、ピザ作りなど体験型のイベントを同時に実施することで、都市住民の観光巡りととどまらない地域おこしを実現。

檜ヶ平集落協定 福岡県うきは市浮羽町妹川

問合せ先 うきは市役所農林振興課 Tel : 0943-75-4975 Fax : 0943-75-3114

つつら棚田を守る会

多様な主体によって守られる棚田の景観



取組概要

- H25年に設立。構成員は地区内外の40人。久留米市の企業等も参加。つつら棚田約6haのうち、高齢化等で耕作できない方の約1.1ha(54枚)の棚田を耕作。
- 1枚1枚の面積が小さく、手作業の場合もあり、また広範囲に分散しているため、水の管理に苦勞するなど困難を伴いながら耕作を継続。
- 棚田の景観を活かし、9月の「彼岸花めぐり&ばさら祭り」、10月の「棚田のお月見会」などの交流イベントを開催。

活動成果

- 棚田の景観が保たれており、彼岸花のイベントでは毎年約1万人以上を集客するなど年間を通じて多くの方が足を運んでいる。
- イベントへ来た方に棚田のお米や農産物を購入していただくことによって、お米等の価値がブランド化され、棚田の食のファンになっていただいている。
- 大学や企業等に棚田の営農を学ぶ機会も提供。棚田米による日本酒を作り、道の駅等で販売、好評を得ている。

つつら棚田を守る会

福岡県うきは市浮羽町朝田582-1うきは市民センター内 Tel: 0943-76-9059

あさくら

朝倉グリーンツーリズム協議会

筑後平野で、ゆったりのにびり農村民泊体験



国際交流の子ども達の受入れ



教育旅行／入村式



教育旅行／受入家庭での体験

取組概要

- H22年に当協議会を発足。農林漁業体験や民泊の受入家庭のネットワークを構築。現在、6市町村において100軒を超える受入家庭を確保。
- 小・中・高校生の教育旅行、日本国際協力センター等を通して東南アジアや台湾の若者の国際交流を受入れ。朝倉の自然や文化と食を体験してもらっている。
- 2018年からは、九州北部豪雨の被災地を体験する「体験教訓バスツアー」や、県内外からの団体を受入れ自然災害の恐ろしさと災害時の対応等を発信。

活動成果

- 教育旅行や国際交流の受入数は、年を重ねる毎に増加。H29年度は教育旅行約1000人、国際交流約100人を受入れ。
- 受入家庭のネットワークを6市町村へと拡大したことにより、昨年の北部九州豪雨災害では、一部地域で被害も受けたが、その他の地域でカバーして受入れできた。
- 過疎化が進み、地域が衰退方向にある中で、来た方にも、受入れした家庭にも喜ばれている。

朝倉グリーンツーリズム協議会
福岡県朝倉市甘木1320

Tel : 0946-24-6758 Fax : 0942-70-4124

ごいのき 伍位軒集落協定

集落みんなで守る！中山間地域とみかんの里



伍位軒集落の園地の風景



高品質ミカンの栽培(シートマルチ栽培)

Uターンによる後継者の増加

取組概要

- パワーショベルの共同利用による園地整備、中山間直接支払交付金を活用した園内道等の整備を自主施工。SSや軽トラックなどの園内への乗入れが可能となり、栽培・管理作業が省力化。
- 本集落で発見された優良品種「北原早生」を生産拡大。「シートマルチ栽培」による高品質ミカンの生産を推進。

活動成果

- 農作業の省力化が進み、経営規模が拡大。「北原早生」導入等による高品質ミカンの生産により、高値で取引され、山川みかん全体の販売額も増加。
- ミカン農家の経営基盤が強化され、農家所得が向上。H22年以降、集落に4名がUターン就農。子供の数も増え、集落全体が活性化。

みやま市役所 農林水産課
福岡県みやま市瀬高町小川5番地

Tel : 0944-64-1522 Fax : 0944-64-1524

農事組合法人 モア・ハウス

女性が輝く、九州屈指のきのこ産地！



対面販売で、しっかりきのこの良さをPR



子どもを含め、積極的に視察研修を受入れ



女性研修生によるアスパラガス収穫作業

取組概要

- H9年に農家の主婦4名で、町の特産物であるきのこの生産法人を設立。
- ぶなしめじ栽培に取り組むとともに、栽培後に排出される菌床を堆肥としてグリーンアスパラガスを栽培。
- H10年以来、年間95回以上、きのこの対面試食販売を実施。そのときの消費者の声がきっかけで、「きのこご飯の素」や「焼きエリンギ」など9種類をH16年より商品化。アスパラガスのもぎ採り体験や農業研修生の受入も実施。

活動成果

- ぶなしめじ、アスパラガス栽培は産地形成に寄与するとともに、売上高1億6000万円(H29実績)の企業へと成長。
- 「きのこご飯の素」など加工品は手間いらずと好評で、年間2000個を売り上げ、地元を代表するヒット商品となっている。
- 職員19名中15名は女性。農業で自立する女性を増やしたいとの思いで始めた軽量野菜のアスパラガス栽培での農業研修生受入では、これまで11人を受入、うち8人(うち女性3人)が独立、就農。

農事組合法人 モア・ハウス

福岡県三潴郡大木町上木佐木527番1

Tel : 0944-32-1588 Fax : 0944-32-1625

有限会社小林きのこ産業

残したい大木町のきのこ発祥地と大莞の祭り



女性の活躍のための経営改革



6次産業化に向けて加工品を販売



消費者の試食会・会社見学

取組概要

- S48年よりえのき栽培を開始。H元年に社会保険の整備など従業員の就業条件の改善等のため法人化。社会保険のほか退職金制度、産前産後休業、育児休業等を整備。
- さらに、従業員が家庭と仕事を両立できるよう就業時間の調整や従業員のライフステージと希望に応じたパートから正社員への登用を推進。
- えのきを使った加工品開発に取組み、茶、クッキー、ごぶ漬、ジュレなどを加工・販売。

活動成果

- 大木町におけるきのこ栽培の先駆けであり、種菌を培養する種菌センターの設立などきのこの産地形成に大きく貢献。
- 顧客、社員、経営者の「三者満足」を会社の理念として、売上高1億3000万円、従業員20名の会社に成長。返品や交換がないなど徹底した商品管理で地元スーパーや消費者の信頼を得ている。
- 地元の祭り「大莞(おおい)祭り」へのきのこご飯の提供、地域の環境保全活動への積極的な参加などで地域に貢献。

有限会社小林きのこ産業

福岡県三潴郡大木町大藪1027番

Tel : 0944-32-1403 Fax : 0944-32-1403